

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 2年 7月 13日

事業所名

総合療育センター にこここ通園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		・室内の広さに応じて環境設定や活動内容を工夫し、安全面に配慮しながら適正なスペースを確保している	・引き続き、環境設定の工夫を継続する
	② 職員配置数は適切である	○		・保育士数は適正配置している ・看護師やリハビリスタッフも保育活動に参加している	・今後も継続する
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・各部屋は絵や文字で示している ・活動は必要に応じて絵や写真・文字などで表示したり、視覚的にもわかりやすく構造化した環境を整えている	・途中入園の方には、通園以外の外来、リハビリ室等必要な場所の見学や案内を行う ・様々な情報は、クラスや保護者控室、ホールに掲示している
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日玩具や環境整備などの消毒、清掃や整理整頓を行っている ・コロナ感染症対策においても時間を決めて換気や消毒を行っている ・定期的に院内感染対策委員会からのラウンドの実施 ・手洗いの励行や手指消毒のご協力を頂いた	・今後も感染症予防対策を継続しながら、ご家族にも体調確認カードやマスク着用、手洗い等、ご協力を頂く
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・各業務に対しPDCA、また運営についても昨年度を振り返りながら改善を行っている	・今後もPDCAサイクルを継続する
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年アンケートを実施し、保護者の意向を把握している。またこれからの親子通園の在り方や、これまでの取り組みについての意見交換を行った	・アンケートを受け、進路指導は令和元年7月末に行った。また意見交換の中で上がった課題について検討を行い、運営に活かすよう努める。今後もアンケートを通して、業務改善を継続する
	⑦ 事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者向け評価表の結果を基に自己評価を行う ・評価結果は、ホームページだけでなく、書面にて開示している	・ホームページに掲載する ・引き続き保護者控室やホール等に書面にて開示する
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・第三者評価は19年度以降受けてはいない ・市の監査や実地指導を受けており、業務改善に努めている	・課題や改善点の確認を行い、職員の周知徹底を行う
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・内部研修や勉強会を計画的に行い、また外部研修への参加を行う等スキルアップを図っている	・今後も継続する
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・入園時と療育を開始後の1ヵ月後に保護者からの目標や聞き取りを行う。通園での評価や行動観察を行い、多職種でカンファレンスを実施、児童発達支援管理責任者の指導にて支援計画を作成している	・具体的な目標を作成し、保護者と共有できる個別支援計画を作成している
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士による評価結果を利用している。また遠城寺式乳幼児分析的発達検査及びポータープログラムを参考にしている	・今後も各職種の評価を参考にしながら継続する。アセスメントツールの理解を深める
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・カンファレンスやミーティング等で課題や方針を決め、具体的な支援内容の設定に努めている	・家族へより理解を促すための表記工夫が必要である ・今年度は個別支援計画の項目の見直しを行った
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個別支援計画に基づいた月の目標を立てて支援を行い半年に一度達成度を確認している	・計画に基づいた短期目標をチェック項目にし達成の目安を明確にする ・支援方法を家族へ伝える技術の研鑽が必要
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラス担任や関係スタッフと協議しながら行っている	・今後も継続する
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・各クラス別に年間カリキュラムを作成し、それに基づいた月案を計画している。 ・子どもの発達に合わせて内容を検討し、季節に合わせたものを取り入れ工夫している	・新規の教材作りなど行いながら、職員間で共有していく ・今後も活動のねらいを保護者へ分かりやすく伝えられるよう工夫を行う	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・集団の中で子どもの状態を確認し、その都度個別対応を行っている	・今後も目標に添った活動の提供を継続する
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・保育士間やリハビリスタッフと活動内容や役割などを活動前に確認している	・今後も継続する
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・職員同士で子どもや親子の様子、気になる点などを共有している ・保護者からの情報など詳細を記録する ・その日の支援の振り返りを行っている	・今後も継続する
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の記録は欠かさず、支援の検証・改善に心がけている。また月毎の目標をチェック項目にしモールステップで取り組めるよう記録している	・今後も継続する
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っている	・懇談を設け、モニタリング報告をし、新たな支援計画の説明を今後も行う
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担任、児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて看護師、リハビリスタッフが参加している	・今後も連携を図りながらご家族にとってより良いサービスにつなげていく
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要時に関係機関と情報交換や連携を行っている	・今後も関係機関と連携を行い地域で家族が安心して生活できるよう支援を行う
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて関係者会議を行っている。また、電話連絡などで連携をとっている	・今後も継続する
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・当センター小児科受診を勧め、緊急時の搬送先や受け入れ等、ドクターや保護者を通じて確認している。また緊急時対応など個に合わせ対応を共有している	・今後も継続する
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・見学の受け入れや電話などで情報交換を行っている。また、個別支援計画書やサポートブックでの引き継ぎを行っている	・必要なケースによっては、担当者会議を実施
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者や関係スタッフと作成したサポートブックや情報提供書等引き継ぎ文書としての資料を作成し、相互理解を図っている ・学校職員からの見学を受け入れ、支援や状態の共有を図っている	・今後も継続する。就学後も保護者から要望があれば移行支援として関係者会議を開催する
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・他機関に対し、学術集会や療育研修報告会、交流セミナー等の案内を行った	・今後も他機関の施設の機能について、情報収集に努め、利用者へのサービスに繋げる
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・クラスによっては保護者の希望を確認しながら、近隣の保育所(園)との交流保育を年に数回実施している	・地域で参加できる場の検討
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・現在参加していない	・当センター内の部署が参加しているため、情報収集に努める
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡ノートや保護者と日々の会話の中、定期的な懇談会などで共通理解できるよう努めている	・今後も継続する
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・保育場面を通して、実際に職員が手だてを見せ、ご家族にも実践をしていただく。また家庭での支援や対応方法などその都度具体的に説明し、保護者が家庭で実践できるよう伝えている ・保護者講座の実施	・通園内の勉強会にて、ケース検討を行い内容の充実を図る

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> 運営規定については、自由に閲覧できるようにしている。 利用者負担等は文書を渡し園長や医事職員が個別に説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も入園オリエンテーション時に丁寧な説明を行う
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		<ul style="list-style-type: none"> 懇談時には児童発達支援計画書やモニタリング報告書を提示し説明を行い保護者の同意を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートや個別の相談で対応している 	<ul style="list-style-type: none"> 相談しやすい環境づくりをこころがけ今後も継続する
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		<ul style="list-style-type: none"> 現在父母の会はないが、保護者同士が関わられるよう場の提供や交流の時間を確保している 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の連携が取りやすいように場面設定の工夫、また行事の目的や保護者の意見の集約を行うことに努める
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		<ul style="list-style-type: none"> 相談申し入れの際は、担任や園長が迅速に対応できるよう心がけている。また、職員間の速やかな情報共有に努めている 投書箱の設置や案内を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も相談しやすい環境作りや迅速な対応に努める
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎月「園だより」を発行し、行事や季節、健康面に対する情報などを提供している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報での文書類は鍵のかかるキャビネットに保管している 行動規範チェックリストで自己啓発している 通園内の写真可否を保護者へ確認している。 実習生には守秘義務の徹底を文書にて取り交わしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に分かりやすく表示、平易な言葉で対応、話しやすい静かな部屋の提供など保護者家族に合わせた伝え方や工夫を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> センター全体で「あだちまつり」を年1回開催している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> 当センター内でのマニュアルに基づき、通園でのマニュアルを作成している。毎月の火災訓練の他に、風水害、地震、防犯等の避難訓練も合わせて実施している
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> 火災訓練は毎月1回実施している。火災発生場所の想定も変えながら行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○		<ul style="list-style-type: none"> 入園前の面接やアセスメント表にて担任、看護師が確認。 クلامي-ツィク など多職種間で情報共有している 健康面での配慮が必要なお子さんについては、保護者と関係職員でサポートブックを作成している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断書をもとにスタッフ間で確認し対応。 入園前の面接やアセスメント表にて園長、看護師、担任、栄養士が確認している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		<ul style="list-style-type: none"> 通園内で毎日報告を行い、情報共有を行っている。 月1回リスクマネジメント委員会にて報告を行い、議事録を回覧し、職員全員に周知を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> センター全体での事例は月毎に回覧している。通園内の事例はファイルし振り返りができるように保管している
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		<ul style="list-style-type: none"> 人権等むか-内で職員研修を実施 行動規範チェックリストにて自己評価を行い職員間で意見交換を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束行為に関する同意書作成、保護者から同意を得て記録を取り、見直している。 身体拘束についてのマニュアルを職員間で周知徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。